

製品名: HSP10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12237**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	10kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPE1
別名	HSPE1; 10 kDa heat shock protein; mitochondrial; Hsp10; 10 kDa chaperonin; Chaperonin 10; CPN10; Early-pregnancy factor; EPF
遺伝子 ID	3336.0
SwissProt ID	P61604
免疫原	抗血清はヒト HSP10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

背景

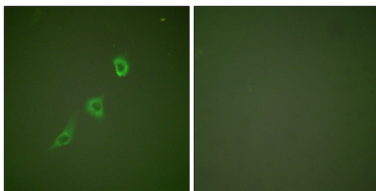
この遺伝子は、シャペロニンとして機能する主要な熱ショックタンパク質をコードしています。この遺伝子は 7 量体リングから構成

されており、このリングが別の熱ショックタンパク質と結合して対称的な機能的ヘテロ二量体を形成し、ATP 依存的にタンパク質のフォールディングを促進します。この遺伝子と共シャペロニンである HSPD1 は、2 番染色体上に頭対頭の向きで配置されています。この遺伝子座と隣接する MOBKL3 遺伝子座の間では、自然発生的なリードスルー転写が起こります。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]、機能: 真核生物の CPN10 ホモログであり、CPN60 と共にミトコンドリアタンパク質合成に必須です。Mg-ATP 存在下で CPN60 に結合し、後者の ATPase 活性を抑制する。誘導: ストレスによる。質量分析: PubMed:7912672, 類似性: groES シャペロニンファミリーに属する。サブユニット: ホモヘキサマー。、

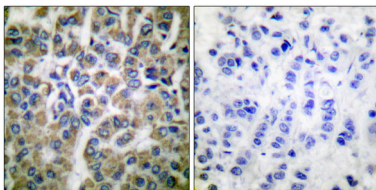
研究分野

シグナル伝達

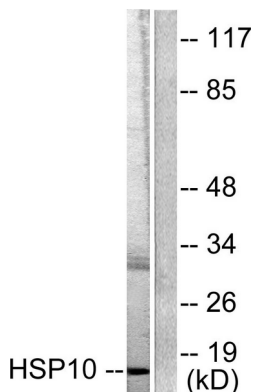
画像データ



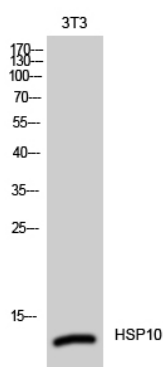
HSP10 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HSP10 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



NIH/3T3 細胞ライセートの HSP10 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSP10 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析

